

# 教員に求められる資質・能力 自己評価シート

令和4年4月  
和歌山県教育委員会

<b>和歌山県が目指す教員育成</b>  <b>(学び続ける教員像の確立)</b>	<p>○若手教員の力量向上のための校内研修のしくみをつくり、自らも学び続けながら学校全体の教育力を高めようとする教員</p> <p>○同僚性・協働性を基盤とし、しなやかに創造的な「チーム学校」をつくろうとする教員</p> <p>* 教職に対する責任感、探究力、教職生活全体を通じて自主的に学び続ける力(使命感や責任感、教育的愛情)</p> <p>* 専門職としての高度な知識・技能</p> <p>* 総合的な人間力(豊かな人間性や社会性、コミュニケーション力、同僚とチームで対応する力、地域や社会の多様な組織等と連携・協働できる力)</p>
---	--

視点	キャリア段階	3段階 充実期 (目安:11年目~20年目)		達成度評価		
		資質・能力	3段階 充実期 (目安:11年目~20年目)	I期 月 日	II期 月 日	年度末
授業実践力	授業構想能力	本時・単元のねらいに沿った授業構成及び評価計画(計画) <b>Plan</b>	カリキュラム・マネジメントに基づき、指導と評価が一体化された保育、授業計画を立てるとともに、学年や単元間の系統性を意識し、ねらいに沿った単元計画や評価計画を立てることができる。また、同僚や若手教員が作成した保育、学習指導案についての確に指導・助言を行うとともに、授業展開や発問について代替案を示すことができる。			
		<b>【目指す具体的な姿】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書で教材研究を行う力(全)</li> <li>○本時の目標、授業展開、評価の一体化を目指す力(全)</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現に向け、目標や子供に付けたい力、教員の関わりを明確にして保育、授業構想をする力(全)</li> <li>○校種間の系統性(学びの連続性)を意識し、校種間の円滑な接続を大切にしながら年間指導計画を作成する力(2~4)</li> <li>○校内研修(事前研修)等における同僚、若手教員へ指導助言を行う力(3~4)</li> <li>○教育要領、学習指導要領を踏まえたカリキュラム・マネジメントを行う力(3~4)</li> </ul>			
	指導技能	学習指導と評価技術(実行) <b>Do</b>	保育、授業中に、子供一人一人の理解度を発言や机間指導により把握し、子供の理解度に応じた効果的な指導ができる。また、学習状況に応じて子供に適切な評価・支援を行い、それらの見取りを、次時以降の保育、学習指導計画の修正に生かすことができる。			
		<b>【目指す具体的な姿】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICTを効果的に活用できる力(全)</li> <li>○他者と関わる中で考えを深める「対話的な学び」を大切にしながら保育、授業展開を行う力(全)</li> <li>○思考力、判断力、表現力等を身に付けさせる保育、授業の工夫改善を行う力(全)</li> <li>○子供の意欲や関心、興味から子供の姿や状況を見定めるとともに、ねらいに沿った保育、授業展開を行ったり主体的な活動を支援したりする力(全)</li> <li>○保育、授業研究を通して、明確な指示・説明や適切な発問等の指導技能向上に努める態度(全)</li> <li>○子供が自己選択、自己決定し、主体的に活動する時間や、考えたり表現したりする時間を取り入れた保育、授業を展開する力(全)</li> <li>○子供のつぶやきや反応に適切に対応する力(2~4)</li> <li>○B評価をA評価に引き上げるため、本時において個別の支援を行う力(2~4)</li> <li>○本時の評価・支援を、次時以降の保育、学習指導に生かす力(3~4)</li> </ul>			
	省察	自身の授業を振り返る姿勢(分析・修正) <b>Check Action</b>	自ら学び続けるという意識をもち、自身の保育、授業実践を積み上げるとともに、同僚や若手教員の授業力向上のため、適切な助言を行うことができる。			
		<b>【目指す具体的な姿】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究保育、研究授業を行い、進んで保育、授業改善に取り組もうとする意欲(全)</li> <li>○進んで研究会等に参加しようとする意欲(全)</li> <li>○自己研鑽を重ね、常に保育、授業改善に取り組む姿勢(全)</li> <li>○校内研修(事後研修)等における同僚、若手教員への助言を行う力(3~4)</li> </ul>			
生徒指導力	個に対する指導・支援					
	集団に対する指導・支援	子供の自己指導能力の育成を図るための積極的な生徒指導について、様々な関係機関等と連携して環境を整備する。また、管理職の方針のもと、校内組織等においてリーダーシップを発揮する。				
	社会的なリテラシーの育成					
	<b>【目指す具体的な姿】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コーチングを生かした指導を行う力(個:2~3)</li> <li>○教育相談の技能の向上(個:2~3)</li> <li>○ケース会議を計画・運営する力(個:3)</li> <li>○特別支援教育の視点に基づく適切な支援を行おうとする意欲(個:全)</li> <li>○キャリア教育の視点に立った進路指導を行う力(個/社:1~3)</li> <li>○問題行動に対する毅然とした対応力(個/集:全)</li> <li>○望ましい集団生活を営む力の育成につながる特別活動や部活動の指導を行う力(集:1~3)</li> <li>○ボランティア活動を実施すること等を通して、社会に貢献しようとする意欲の喚起(社:2~3)</li> <li>○他者と協働して問題や課題を解決しようとする態度を育成する力(社:2~4)</li> <li>○道徳教育、人権教育を基盤とした指導を行う力(総:全)</li> <li>○生徒指導に係る校内体制(SCやSSWとの連携など)の環境整備の実施(総:3~4)</li> <li>○生徒指導に係る関係機関との連絡・調整を行う力(総:3~4)</li> </ul>				
マネジメント力	学級経営能力	学校教育目標を実現するための指導の中心を定め、教育活動を工夫改善する。				
	学校組織の一員としての取組	学校組織の中核として、それぞれの力を生かして学校運営に参画する。				
	保護者・地域・外部機関との連携	保護者や地域等と連携・協働のネットワークを形成する。				
	危機管理能力	教育活動での危機を予測し未然防止を図るとともに、早期発見、早期対応に努める。				
	省察力(自己実現)	教育活動及び校務分掌における自身の取組を、学校教育目標と関連付けて振り返るとともに、工夫改善を学校課題の解決につなげることができる。また、助言者として、若手教員の省察を支援することができる。				
	<b>【目指す具体的な姿】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○合理的配慮に基づいた学級経営(学:全)</li> <li>○学級経営能力の向上を目的とした学校内外の研修への参加(学:2~4)</li> <li>○年次進行していく当該学年の運営計画を見据えた、他学年や他年度とのバランスを考えた計画・実践(学:2~4)</li> <li>○スクール・コンプライアンスに基づいた、子供に対する安全管理の意識徹底と教室内外の環境整備(危:1~3)</li> <li>○危機管理マニュアルの作成や見直しへの積極的な関与(危:3~4)</li> <li>○校務分掌や主任等としての組織的な取組と同僚への積極的な関与(組:3~4)</li> <li>○子供に対する切れ目のない支援を目指すため、各校種、各学年間の接続を大切にしようとする態度(保:全)</li> <li>○教育活動の実施に必要な人的又は物的な体制づくり(保:3~4)</li> <li>○若手教員の省察を支援する校内カンファレンスや面談等の実施(省:3~4)</li> </ul>				

**【評価について】**      3:十分に達成できている      2:達成できている      1:達成に向け取り組んでいる

**【凡例:生徒指導力】**  
 個...個に対する指導・支援    集...集団に対する指導・支援    社...社会的なリテラシーの育成    総...個、集、社の全ての項目  
 各数字...それぞれのキャリア段階で目指す姿    全...全段階で目指す姿

**【凡例:マネジメント力】**  
 学...学級経営能力    組...学校組織の一員としての取組    保...保護者・地域・外部機関との連携    危...危機管理能力  
 省...省察力    各数字...それぞれのキャリア段階で目指す姿    全...全段階で目指す姿